



ひびきの

学力特集号

北九州市立ひびきの小学校

校長 太田 敦生

【学校教育目標】

思いやりの心を持ち、自ら学び考える、  
心身ともに健康な児童の育成

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日(火)に、6年生を対象とした「教科(国語・算数・理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせします。  
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取り組みの参考にさせていただきたいと思っております。  
なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面にすぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。  
今回の結果を参考に、お子様の学力向上に向け、ご理解ご協力をお願いいたします。



1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A(基礎)	・5区分の中で全国との差が最も大きかった(よくできていた)。 ・すべての設問で、全国平均を上回っていた。	上回っている
国語B(応用)	・すべての設問で、全国平均を上回っていた。(理解できていた)。 ・文中の質問の意図を捉える問題や、複数の本や文章を理解し読み取った理由を条件の中で書く問題がよくできていた。	上回っている
算数A(基礎)	・どの領域もまんべんなく理解できていたが、重さと長さの関係を数直線を基に考えて立式する問題に課題が見られた。	上回っている
算数B(応用)	・どの領域もまんべんなく理解できており、課題が少なかった。 ・グラフから読み取ったことを表現する問題に課題が見られた。	上回っている
理科	・土地のつくりとその働きがよく理解できていた。 ・人体の仕組みに関する問題に課題が見られた。	上回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

- 自尊感情が高く、夢や目標をもっている。
- 規範意識や学校の学習、生活習慣は概ねよい傾向。
- 地域の行事に参加するなど、地域への関心が高い。
- 宿題、予習・復習を確実にやっている。
- TVやゲームより習いごとや運動を行う傾向がある。
- ▲自分で計画して行う自主学習(家庭学習)が十分でない。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

【学校での取組】

・どの教科も概ねよく理解できており、今後も思考力・判断力・表現力を養う学習を継続的に行っていきます。理解が十分でなかった一部の内容については、卒業までに確実に復習します。

【家庭にお願いしたい取組】

・これからは、暗記して知識を習得することより、考え判断して(書いたり話したりして)表現する力が重視されます。家庭でも、文を書いたり会話をしたりする機会を増やしてください。

② 家庭生活習慣等に関する取組

【学校での取組】

・自尊心や規範意識など、よい面を一層伸ばす指導を行います。また、地域への関心や読書など、本校の特色といえる内容を、これからも充実させていきます。

【家庭にお願いしたい取組】

・全国平均と比べ、家庭学習の時間は同程度です。自分で計画して行う自主学習には課題が見られました。7月(第4号)の学校だよりでお伝えした家庭学習の目安時間を参考に、家庭学習の充実(質・量・時間)を図っていただきますようお願いいたします。

